

東リ 目地棒



No.11



No.3



No.5



No.18 (シルバー)



No.2



No.4



No.12



No.19 (ゴールド)



No.17



No.5665



No.5679

	断面形状	全厚×幅 (mm)	長さ (mm)	価 格 (税抜き価格)	梱 包 (取引単位)	略 号	品 番	規 格
目地棒		2×3	920	90円/本 4,500円/ケース	50本	NMEJI	2/3/4/5 11/12/17	-23
		2×5		110円/本 5,500円/ケース				-25
		3×3		110円/本 5,500円/ケース				-33
		3×5		164円/本 8,200円/ケース				-35
金銀目地棒		2×3	920	130円/本 6,500円/ケース	50本	NMEPL	18/19	-23
		2×5		164円/本 8,200円/ケース				-25
		3×3		164円/本 8,200円/ケース				-33
		3×5		200円/本 10,000円/ケース				-35
テーパー目地棒		2~3×5	920	220円/本 11,000円/ケース	50本	NMETJ	3	
広幅目地棒		3×10	920	220円/本 11,000円/ケース	50本	MEJIMS	5665/5679	

ご注意: 規格2mm厚の目地棒の実寸は1.8mmで2mm厚のタイル用、規格3mm厚の目地棒の実寸は2.8mmで3mm厚のタイル用です。その他の注意事項は557頁参照。

●ご注文について: 「略号」+「品番」+「規格」を続けてご注文下さい。

目地棒の施工手順

① 目地棒の材料計算をして、およその使用本数を算出する。

● 1㎡あたりに必要な目地棒の大きな使用本数の算出方法

a: 目地棒で囲むタイルの1区画分の縦の長さ(m)

b: 目地棒で囲むタイルの1区画分の横の長さ(m)

0.92m=目地棒の長さ

$$1\text{㎡あたりの使用本数} = \frac{(a+b)}{(a \times b) \times 0.92\text{m}}$$

② 床材の施工手順に準じて割付け基準線を設ける。

③ 基準線に従って、同時施工のタイルと同じ指定接着剤を塗布する。

① 注意

目地棒を使用する場合、ゴム系ラテックス形接着剤(エコロイヤルセメント)は使用できません。一般工法(乾燥したモルタル・コンクリート下地)の場合でも、アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤「エコAR600」をご使用下さい。(ウレタン・エポキシ樹脂系接着剤はそのまま使用可能。)

④ 所定の待ち時間を取り、目地がズレないように、タイル・目地棒と交互にはさんで圧着しながら貼り広げていく。目地棒部分もローラーで念入りに圧着する。目地棒は線の入っている方を下にして施工する。

① 注意

目地棒が床材より低く圧着しにくい場合は、目地棒の上にもう1本目地棒を載せ、その上からハンドローラーで押さええます。